

長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校だより (11月号)

青空いっぱい

発行責任者：校長 田中昭二

- 長 長所を伸ばそう
- 大 大好きなことを見つけよう
- と ともだちとチャレンジしよう
- く くらす力をつけよう
- し しごとをする力をつけよう

行ってきました！！修学旅行



小学部5・6年生が11月5日から一泊二日の旅程で佐世保市へ、中学部3年生が11月11日から二泊三日の旅程で佐世保市と島原市へ修学旅行に行ってきました。天候に恵まれ、予定していた全ての学習活動に取り組むことができました。小学部は事後学習で旅行の思い出として、楽しかったことを言葉や文で書いたり、一番好きな写真を選んで貼ったりして思い出のアルバムを作りました。中学部は、見学先で学習したことを文で書いたり写真を貼ったりして「いいとこ 発見 長崎の旅」としてまとめました。小学部は3組教室前に、中学部は校長室前にそれぞれ掲示しています。また、本校ホームページには写真と記事が掲載されています。ぜひ、思い出を共有していただければと思います。

中学部3年生の「いいとこ 発見 長崎の旅」から生徒たちの学びを紹介します（一部表現を言い換えたものもあります）。

<p>「がまだすドーム」</p> <p>山が噴火して家が壊れたりしたのがびっくりしました。島原の人たちが努力したおかげで、もとにもどったのがすごいと思いました。</p>	<p>「がまだすドーム」</p> <p>火砕流が発生して亡くなった人、ケガした人、行方不明になった人、家が燃えた事があって最初はこわかったけど良い勉強になりました。</p>	<p>「島原城」</p> <p>お城の中に入って見たら、よろいとか、日本刀とか、絵とか結構昔でした。屋上に到着すると、熊本が見えるとは驚きました。</p>
<p>「島原ゆうすいかん」</p> <p>寒ざらしは、島原だけでなく、世界まで有名なんだな～と思いました。</p>	<p>「寒ざらし作り体験」</p> <p>寒ざらし作り体験をしました。水の味が長崎の水と違ったので、びっくりしました。</p>	<p>「寒ざらし作り体験」</p> <p>小さい丸をまるめて、真剣に集中してやりました。大変でした。とても難しいです。</p>

見学・体験施設、旅行会社、バス会社、宿泊施設など今回の修学旅行に御協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。また、保護者の皆様には御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

頑張った現場実習

高等部1年生は11月9日から20日までの2週間、2・3年生は11月2日から20日までの3週間、現場実習に取り組みました。高等部1年生は高校生になって初めての实習で、2年生は6月の実習を中止したため今年初めての实習でした。実習先は「進路のお知らせ」（11月24日付）のとおりです。今後、事後学習を通して、自分の適性を見つめ、進路について考え、迷い、選択・決定していきます。

最後になりますが、今回の実習を受け入れていただいた実習先の皆様にお礼を申し上げます。また、保護者の皆様には御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



ある先生の言葉

令和3年度に本校は創立50周年を迎えますが、過去の資料を読み返すごとに、そこに記された諸先輩方の言葉に教育への深い思いと熱情を感じるとともに、自分自身まだまだ未熟者だと改めて感じます。

ある先生の言葉を紹介いたします。この言葉はその先生が*副校長として、当時の学校経営について語られた言葉の一つです。（*以前、本校校長は大学の先生が務めていましたが、常勤ではなかったため、副校長が学校経営など今の校長の仕事をしていました。）

教師に求められている第一の資質は巧みに教える能力ではなく、細かに、深く学ぶ能力であることに思いをいたし、子供たち一人一人についての発達課題をより具体的なものにできる識見と力量を身につけていきたい。

このことは、時を経ても、教師として求められる資質であり、いつまでも追究していくことだと考えます。今、この言葉の意味を考えるとともに、このような思いを共にする教師集団、学校でありたいと思います。保護者の皆様には、過去の育友会誌「あゆみ」を読む機会を設けられたらとお伝えしたことがあったかと思いますが、まだ、実現できていません。時代や社会の変化、世代の違いなどに伴って考え方は変わるものもありますが、いつの時代も変わらないで大切にされているものもあります。50周年を迎えるこの機会に実現したいと考えています。

